



感動！ JAL（日本航空）機長のアナウンス

これは、日本航空が経営危機で世間に心配されていた頃、ある飛行機を利用した乗客の機内で体験されたお話です。機長によるアナウンスが入りました。このアナウンスとても心温まる素敵なものでした。このような内容でした。



「えー、機長の〇〇〇でございます。当機はまもなく成田国際空港に着陸いたします。小さなお子様をお連れのお客様、お子様はちゃんとお隣にお座りでしょうか？迷子になっていないでしょうか？

当機はジャンボ機で貨物室、客室1階、2階ベッドルームを入れると4階建てになっております。貨物室やベッドルームには秘密の扉通路を通って行くことができます。これらは秘密ですので、皆さまにお教えすることはできませんが、でも、どうしても知りたいという方はぜひ近くの客室乗務員にお尋ねください。中でも、気の弱そうな客室乗務員に声をかけてみてください。もしかしたら教えてくれるかもしれません。しかし、私はパイロットを16年間しておりますが、未だかつて気の弱い客室乗務員に会ったことは一度もありません。」乗客がチラホラと笑い始めます。

「これらの秘密の扉ですが、たまに見つけて入り込んでしまい迷子になってしまうお子様がいらっしゃいます。もし、お子様が迷子になってしまい見つけられない場合はお近くの客室乗務員にお知らせください。いったん皆さまに当機をお降りいただき、CA、パイロット総出で大捜索いたします。そして見つかった際には…、いったん、日本航空でお預かりし、10年後に立派な客室乗務員、またはパイロットとしてお返し致します。」

〈乗客笑顔〉

「えー、去年の夏休みには、7名のお子様が進子になり、現在、日本航空でしっかりと訓練中でございます。最後になりましたが、このように日本航空が業務を続けていけるのは本日の444名の乗客の皆さまをはじめ、国民の皆様のおかげでございます。誠心誠意、社員一同頑張っ参りますので、今後とも日本航空をよろしくお願い致します。」

「それでは、まもなく成田国際空港に着陸いたします。」 〈乗客一同、感動〉

日本人パイロットによるこんなにユーモアのあるアナウンスは初めて…。最初は、普通に『ふんふん』と聞き流している程度でした。しかし、どんどん周りの乗客が耳を傾けており、最後は全乗客そのアナウンスに聞き入ってしまいました。私は2階席でしたが、1階席では笑い声や拍手が起きました。アナウンスが終わった後、私と妹はもちろん拍手。ほんとうに心温まるアナウンスでした。この方は会社の経営状態が悪くても会社の信用回復のために、会社を愛して仕事をされているんだと思います。それがとても伝わりました。